

ツクルバ 2025年7月期 第3四半期決算を発表
売上高と売上総利益はともに過去最高値を更新、営業利益は90百万円で黒字を継続

当社は、本日2025年6月13日に、2025年7月期 第3四半期決算を発表しました。
詳細につきましては、以下のプレスリリースをご参照ください。

＊

■2025年7月期 第3四半期連結業績ハイライト

カウカモ事業の規模拡大により、売上高は2,408百万円（前年同期比+40%）、売上総利益は927百万円（前年同期比+12%）と、それぞれ過去最高値を更新しました。

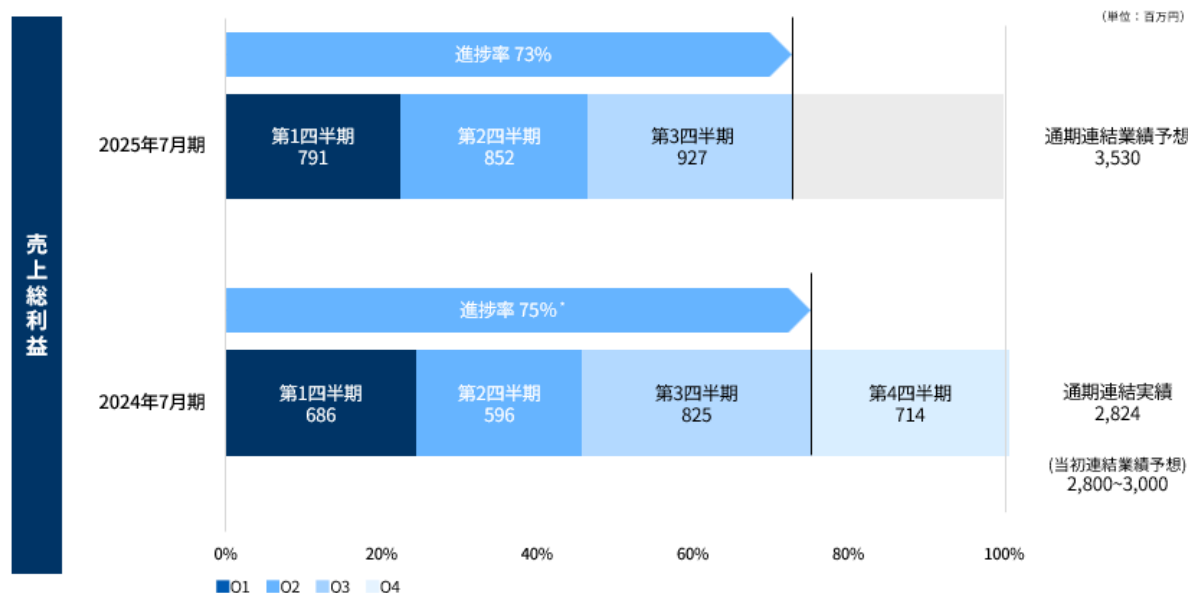
営業利益は、当期中の事業規模拡大に向けた人件費や広告費の先行費用を計上しながら、90百万円（前年同期比△34%）の黒字を継続しました。

2025年7月期 第3四半期連結業績 (2025年2月～2025年4月)	売上高・売上総利益は過去最高値を更新、先行費用を計上しつつ営業黒字を継続		
	売上高＊	2,408	百万円（前年同期比 +40%）
	売上総利益＊	927	百万円（前年同期比 +12%）
	営業利益	90	百万円（前年同期比 △34%）
.....			
2025年7月期 通期連結業績予想	期初計画通りの進捗を受け、通期連結業績予想の達成を見込む		
	売上高	8,000	百万円（前期比 +46%）
	売上総利益	3,530	百万円（前期比 +25%）
	営業利益	230	百万円（前期比 +48%）

（注）売上高と売上総利益の乖離は、自社企画商品の販売増に起因

■通期連結業績予想に対する進捗状況

当第3四半期において、売上総利益の通期連結業績予想に対する進捗は期初計画通りです。



* 2023年11月1日付の不動産企画デザイン事業の譲渡を踏まえ、カウカモ事業のみの進捗率を表記。なお、進捗率は当初連結業績予想の下限値を参照

■来期及び中長期の方向性

2026年7月期においては、生産性を維持しながら営業・マーケティング規模を拡大することで、当期と同水準の売上総利益成長を継続し、通期で営業利益を増加させる方針です。

中長期では、売上総利益の拡大を成長投資につなげることで、持続的成長とツクルバのビジョン「住まいの『もつ』を自由に。『かえる』を何度でも。」の実現を目指します。

2026年7月期 財務方針

当期と同水準の売上総利益成長を継続し、通期で営業利益を増加

- 生産性を維持しながら営業・マーケティング規模を拡大し、当期と同水準の売上総利益成長を継続
- 通期増益の範囲内で、中長期に向けた事業拡張・企業基盤の強化への投資を実行

中長期の方向性

売上総利益の伸長を成長投資へとつなげ、持続的成長とビジョン実現を目指す

- 継続成長が見込まれる首都圏中古住宅市場において、営業・マーケティングリソースを拡大し、売上総利益を伸長
- 増収により拡大する投資余力を、持続的成長に向けた事業拡張（バリューチェーンの拡張、サービス価値向上）や企業基盤へ投資
- 長期的には、商材軸・地理軸での市場拡張及び顧客生涯価値（LTV）の深耕を通じて、持続的成長とビジョン実現を目指す

■詳細のご案内

詳細は、当社IRページ掲載の資料をご確認ください。

<https://tsukuruba.com/ir>